

# 令和4年度第1回岐阜県医療審議会 議事要旨

1. 日時：令和4年9月5日（月）14:00～14:35

2. 場所：岐阜県庁 議会西棟 第一会議室（オンライン開催）

## 3. 出席委員

青木 京子・浅井 タヅ子・阿部 義和・伊在井 みどり・宇佐美 晃三・臼井 正明  
大森 笑子・上平 公子・北市 清幸・河野 美佐子・子安 英俊・田中 吉政・鳥澤 英紀  
長屋 光征・永田 知里・名知 清仁・西垣 功朗・日比野 靖・松波 英寿・宮坂 果麻理

## 4. 出席職員

堀健康福祉部長、渡辺健康福祉部次長  
森島医療整備課長、篠田医療対策監  
医療整備課 山内課長補佐兼係長、乾係長、山下係長、山内主任

## 5. 議題

### 協議事項

（1）病床機能再編支援事業について

### 報告事項

（1）救命救急センターの充実段階評価について

（2）岐阜県医療審議会医療法人部会審議結果について

## 6. 議事要旨（意見・質疑応答（⇒の部分は回答及び説明））

### 〈協議事項（1）病床機能再編支援事業について〉

松波委員：西濃と中濃の回復期病床は、増が必要という整理であると思うが、それにも関わらず今回減らすということは、地域医療構想の考え方からするとおかしくなるのではないか。

⇒（森島医療整備課長）今回の再編の理由は、病床使用率そのものが減少しているという話を病院から受けており、その上で、病院の規模の適正化という点からその部分も含めてダウンサイジングされるということであったため、適正であると判断した。

田中委員：当該事業対象として診療所も認められるか。

⇒（森島医療整備課長）国では診療所も対象としている。ただし、いまのところ、県では病院を対象としている。

松波委員：統計上急性期病床が過剰になっていることの理由の一つが、診療所の病床数が急性期に計上されていることであり、実際には稼働していない有床診療所の病床を整理すれば、実数として適切な急性期の数になるのではないかとことから、整理するならばそこに対して補助してはどうかと思う。